

豪風関が角館小学校を訪問



現役力士と交流深める

2月17日、角館小学校を大相撲の幕内力士・豪風関（北秋田市出身）が訪問しました。豪風関にとっては、秋田への帰郷が何よりのリフレッシュになるようです。

体育館に集まった全校児童は、なかなか見ることができない本物の力士を見て大喜び。豪風関のプロフィールを紹介した後、腕相撲したり、思い出に残る一番などを質問したり、児童



豪風関との腕相撲は大盛り上がりで、次々と児童たちが挑戦。しかし、びくともしない豪風関の力強さにびっくりしていました。

童たちは目を輝かせていました。来場所での活躍を応援しています。

越冬野菜たっぷりバーガー作り



おいしい笑顔こぼれる

2月19日、ひのきない保育園で仙北市産の大根、人参、キャベツなど越冬野菜を使ったハンバーガー作りが行われました。これは同園の祖父母参観日に

合わせ、角館調理師会の皆さんの協力をいただき、初めて行われたものです。園児たち48人は手洗い指導を受けたあと、早速ハンバーガー作りに挑戦。参観に訪れた祖父母と一緒にハンバーグのタネをこねながら楽し



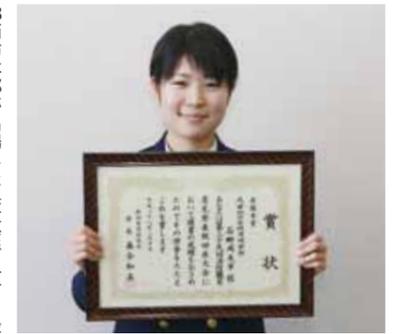
仙北市産の越冬野菜をたっぷりひき肉に混ぜてハンバーグを作る園児たち。このあとじっくり焼いて雪下キャベツとパンにはさんで祖父母と一緒に美味しく食べました。

い時間を過ごしました。上手にできたハンバーガーを口いっぱい頬ばった園児たちは「おいしい」と嬉しそうでした。

消防職員意見発表 秋田県大会 石郷岡美幸さんが最優秀賞

2月10日、第39回消防職員意見発表秋田県大会が秋田市で行われ、「未来を拓く『わが家の防災マップ』」と題し、防災意識の普及を訴えた大曲仙北広域消防本部の石郷岡美幸さん（角館消防署）が最優秀賞を受賞しました。

石郷岡さんは4月22日に仙台市で行われる東北大会に県代表として出場します。



13消防本部が出場した県大会でみごと最優秀賞に輝いた石郷岡美幸さん。東北大会での活躍が期待されます。

紙風船上げ行事の復興に全力尽くす 中島健氏に感謝状を贈呈



紙風船上げの会場で門脇光浩仙北市長（右奥2人目）から感謝状を贈呈される中島健氏（左）。紙風船上げ行事は冬の風物詩として地域に定着し、毎年遠方からも訪れる多くの観客を魅了しています。

上松木内の紙風船上げが行われた2月10日、戦後中断した紙風船上げ行事の復興と普及に尽力された功績

を讃え、中島健氏（上松木内字宮田）に仙北市から感謝状が贈呈されました。中島氏は、地元有志のリーダーとして戦後中断していた紙風船上げ行事の復活に取り組み、紙風船の製作や打ち上げ技術の指導継承など、伝統行事の振興発展に貢献しました。また、独創的な発想でヒョウタン型やサイコロ型の紙風船の製作を手がけるなど、作り手や観客に楽しんでもらえる工夫を凝らしました。復活した紙風船上げは、雪深く冬期間閉塞的になりがちな地域の集いの場として大切にいられています。

神代診療所の 伊藤貞男先生 がご勇退



3月いっぱいでご勇退される伊藤貞男先生。

神代診療所長の伊藤貞男先生が、本年度末をもってご勇退されることになりました。

伊藤先生は平成14年4月から神代診療所に勤務され、神代地区を中心に地域住民のかかりつけ医として地域医療に多大の貢献をされてきました。これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。なお、現在後任の医師を公募していますが、応募者がいない場合も考慮し、角館病院と田沢湖病院の協力により診療体制が維持できるように、両院長と協議を進めています。4月以降も引き続き神代診療所として運営しますので、ご理解をお願いします。

新しい診療体制が決まりましたら改めてお知らせします。

自衛隊が除雪ボランティア

自衛隊が貢献活動

12月14日から1月22日までスキー訓練合宿のため田沢出張所に滞在していた陸上自衛隊秋田駐屯地第21普通科連隊の皆さんが、1月19日、生保内地区で除雪ボランティアを行いました。

当日は自衛隊のほか、仙北市や市社会福祉協議会の職員、地区民生委員も参加し、各班ごとに、独居老人宅や町内会館前をスノーダンプなどで除雪しました。平成25年8月の供養佛土石流災



害時に救助活動で仙北市を訪れた重迫撃砲中隊の皆さんも参加し、地域のために貢献しました。

雪が降る中、一生懸命に一人暮らしの住宅などを除雪する自衛隊の皆さん。

角館榊細工伝承館のひな人形展



数多くの雛人形が展示されている角館榊細工伝承館の「ひな人形展」は、4月10日（日）までの会期となります。仙北市民は入館無料ですので、期間中にぜひ、お立ち寄りください。

角館榊細工伝承館では開館以来、この時期、「ひな人形展」を開催しています。佐竹北家などの旧家には、古雛と

して高い格調を誇る享保雛や古今雛などが数多く残されています。そして、雛人形に付随した雛道具も、時代を感じさせる由緒ある品々が伝えられています。また、押絵は、江戸時代末期から昭和前期にかけて庶民の間で流行したお雛さまで、角館では平福穂庵などの郷土画人が製作にかかり、完成度を高めてきました。この押絵の魅力を、穂庵作と伝えられる名品や旧家に伝世している古い押絵を中心に、最近復活させた新しい作品も展示しています。代々大切に保存されてきたお雛さまの数々を、ごゆっくりとご覧ください。

田沢湖図書館に 「十五日会」が 図書カード寄贈

2月7日、田沢湖図書館に「十五日会（会長：平岡三郎氏）」から2万5千円分の図書カードが贈られました。

これは、「未来を担う子どもたちの読書環境整備の一助に」と、毎年同会より寄贈いただいています。

図書カードで購入した児童読み物や絵本等、多数展示していますのでぜひ手に取ってご覧ください。

